

# 三多摩26市中 ダントツ高い 町田市議会議員の

## ボーナス5.2ヶ月! は どうなった! ?

平成25年(2013年9月議会・最終日(10月8日))を傍聴して...

議員全員で

「町田市特別職報酬等及び政務調査費審議会」(以下報酬審議会)

の開催を求めることを「決議」した町田市議会。

ところが報酬審議会で答申された議員のボーナス(期末手当)を

5.2ヶ月から3.95ヶ月にするという内容を「無視」し、**4.9ヶ月**に

決定した町田市議会。自ら報酬審議会を開くことを決議したならば、

答申が出たら、その答申を尊重するのは大前提、「言わずもがな」で

す。開けとって審議会を開かせ、出された答申は無視をする。

審議会の答申ってそんなに軽いものなのか?

100パーセント、「理解不能」です。

「報酬審議会委員をどこまで馬鹿にしたら気がすむのか!」と言われても

しょうがないような事態です。何よりも、全会一致で議決という**重み**

は、実は吹けば飛ぶようなもの、何の意味も**無**いものと、議員自ら

言っているようなものではありませんか?

これから何度、**全**会一致で議決されようとも、一年半前に自ら決議

したことを、簡単に忘れ、変えてしまうようでは、市民は**信用**でき

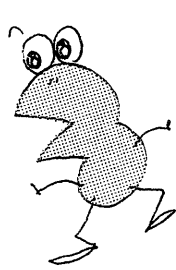
ません。言い換えれば「議会の自殺行為そのもの」です。

そして、こんなことをする議員を**選**んできたのもまた、私たち**市民**

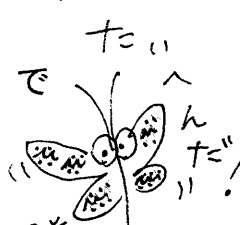
だということを、思い知らされた議会でした。



えっ うそでしょ!!



こんなこと  
みんな知ってたが  
あにきよ!!



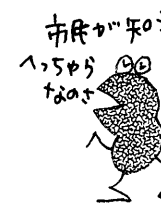
たいへん  
たご!!



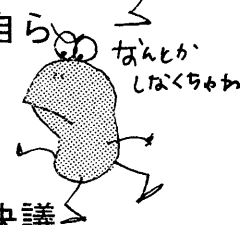
「まじで5  
ほら52うし  
T=よね!



#の中の  
かあ!!



市民が  
知らないか?



なんどか  
しなくちやあ!



議会  
説明して  
ほしい



市民に  
きちんと  
説明  
してほしい!



町田市は  
議会の  
報告会  
はいいよ!



市民の  
代表  
だから  
説明が  
義務か  
めい

それは大それたか。  
草の根

以前のように・・・

## 傍聴席から『議員が見える議場』

に

# もどしてほしい！！

\* 新しくなった町田市役所の3階にある、町田市議会議場・・・。

傍聴席からは議員の姿は見えません。市民が、どこに座ろうとも、かろうじて、最前列の議員がすこし見えるだけ。本会議の際、傍聴する市民が通路にたち真下の議員席を覗き込まない限り、議員がパソコンで内職しようが、離席しようが、居眠りしようが、おしゃべりしようが、まったく市民には見えません。町田市政を考える会・草の根（以下草の根）は、去年の9月議会より2回にわたり通路に立ち、議場での居眠り・内職・離席等の実態調査を行いました。

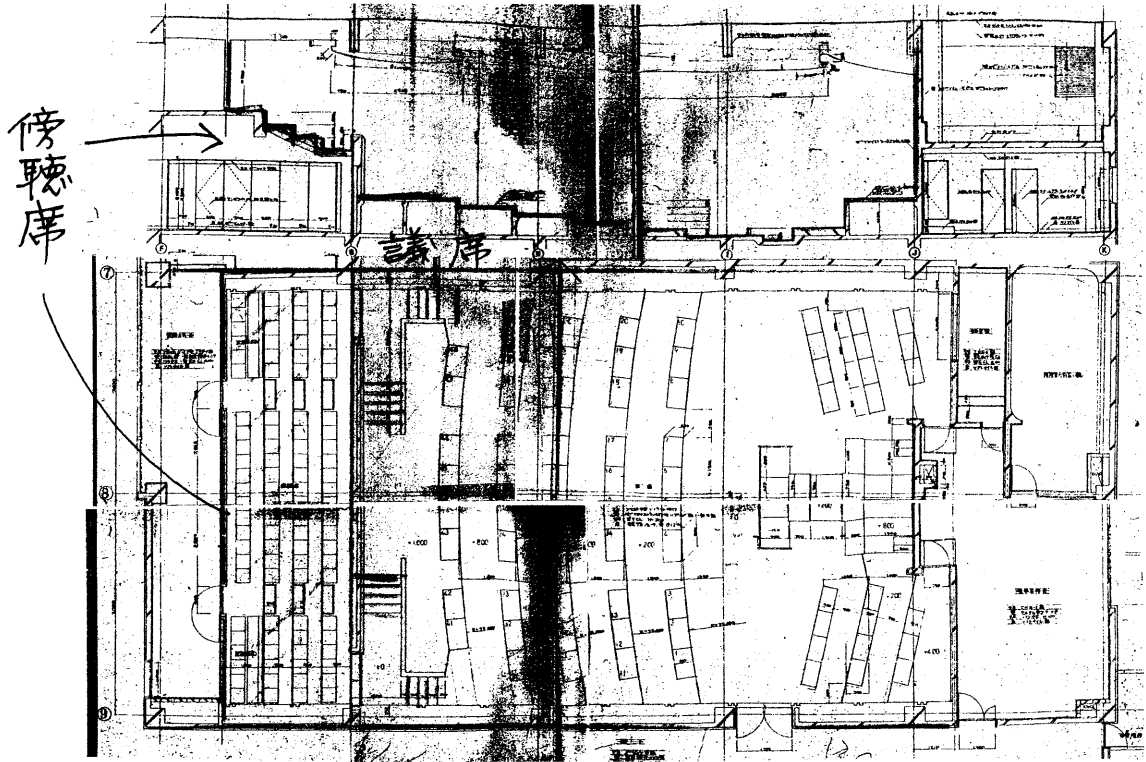
クリック→草の根ニュースNo.19 No.20 参照して下さい！

\* 「インターネット中継」にはそんな議員は映りません！なぜなら、現在のインターネット中継は基本的には質問する議員さんしか映していないからです。行政側と議員との発言の切り替わる時、カメラが、発言する議員の隣や後ろ等の議員の姿が映る瞬間があります。うつらうつら舟こぐ姿や、パソコンに向かい作業中？の姿、離席状況が見られます。

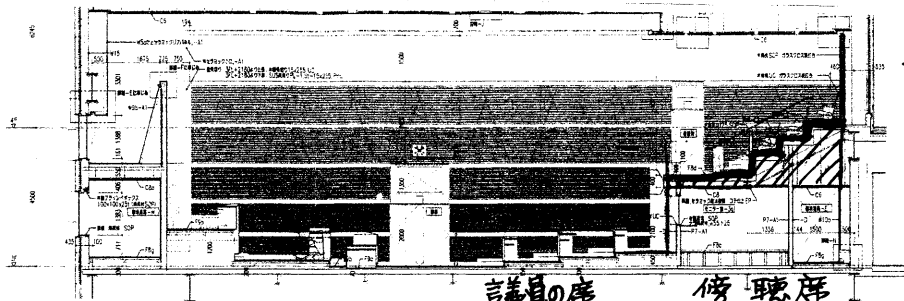
\* 来年の2014年2月23日は町田市議会議員選挙・市長選挙の投票日。

傍聴席から 議員が見えない議場のままで いいはずはありません！！

# 旧議場の断面図



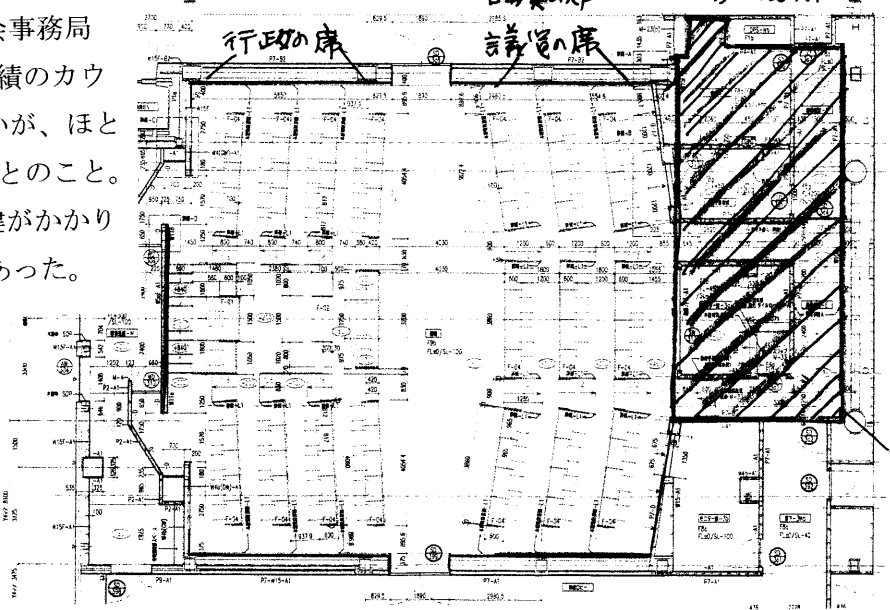
# ▼現在の議場の断面図



\*新しい議場の傍聴席の下には、親子傍聴席が新たにできた。このために傍聴席が高くなり、議員の席がほとんど見えなくなっている?!

← 傍聴席の下にある。

\*利用状況を議会事務局に聞くと「利用実績のカウントはしていないが、ほとんど利用は無い」とのこと。9月議会では、鍵がかかりは入れない日もあった。



\*親子傍聴席ということで、草の根でも、すぐに利用してみた。たまたま一緒になった利用者に聞くと、「穴倉のようで、議場全体は見えず、見えるのは一部議員の大きな背中。子ども(3歳児)は閉塞感があって、長くはられない。」とのこと…。

\*「全体が見えないので、落ち着いて議論を聴くのであれば、むしろ議場が見渡せる明るいところに、ガラスで区切ってもらって音の漏れないような部屋をつくったほうが良いのに(0歳児のお母さん)との話だった。

ホームページのこと ふたこと みこと より!

## 『小野路宿 里山交流館』を訪ねて



町田市が「観光拠点づくり事業」として進められている小野路宿里山交流館に行ってみた。広報等で紹介されていたこともあって、会館間もない交流館は早くも老若男女の集う場所になっていた。

お孫さんを連れておばあちゃんが縁側で髪を結び直して上げている姿・廊下をトントンと踏みならしている幼児・「なんだか実家に帰ったようね」と語り合う女性同士の姿・サイクリングの途中で立ち寄った男性グループ等、つかの間の滞在にも関わらず、様々な市民の姿を見ることが出来た。

訪れた多くの市民のお目当ては、地粉で作られた“うどん”、全て手作りのので、大量生産は出来ないため、残念がって帰る市民も多く見受けられた。食べることの楽しさを、満足させることも大切な一面だと思う。

一案として、小野路いなり+豚汁とか、里山おにぎり+豚汁などのメニューを考えてみてはどうだろうか。いずれも地元の季節の野菜・漬物などを入れたもので、創意工夫をして、名物にしてみてもどうだろうか。高齢者の来訪が多いので、地元小麦粉を使った“おすいとん”・“おぜんざい”などの作り置き・保存のきくメニューで、来訪者をがっかりさせて帰さない工夫も大切かと思う。

農業の活性・高齢者の生きがい・交流も含めて、小野路の里山交流館の雰囲気を活用した市民協働による活動を期待している。

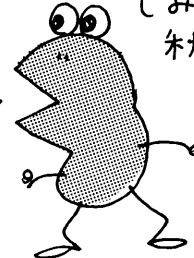
(F・T)

草の根ができて  
3年たつね!  
月日のたつのは  
早い!!



地元  
の人の声  
が  
しゅんげん  
を!

いろいろあるけれど  
しみじみ  
朱火をかんじ  
るとは 土場 だよね!!



町田市政を考える会・草の根 ホームページ

<http://www.machida-kusanone.com/index.htm>

